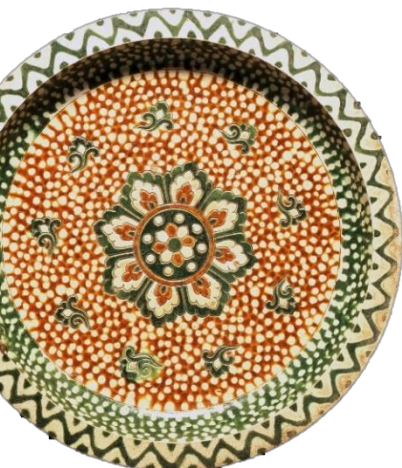


悠久の歴史を持つ中国陶磁。古来、日本では中国のやきものが賞玩され、世界的に見ても優れた質・量の作品が伝えられました。

永青文庫は、古く漢時代から清時代まで100点を超える中国陶磁を所蔵しています。当館の設立者である細川護立(細川家16代・1883-1970)は、大正15年(1926)より約1年半に及ぶヨーロッパ旅行中、陶磁器を含む中国の古美術品を本格的に蒐集し始め、その後も専門家の助言を得ながらコレクションを充実させていきました。また細川家は、茶人としても名を馳せた細川三斎(2代忠興・1563-1645)以来、茶の湯に親しみ、優れた茶道具の数々を伝えています。そのなかには、「唐物」と呼ばれ愛好された中国の陶磁器も多く含まれます。

本展では、「三彩宝相華文三足盤」、「白釉黒花牡丹文瓶」(いずれも重要文化財)など約50点によって、中国陶磁史の流れをたどります。

永青文庫で本格的な中国陶磁展を開催するのは、実に17年振りとなります。細川家が代々愛で、そして細川護立が魅了された中国陶磁の世界を、この機会にぜひお楽しみください。



重要文化財「三彩宝相華文三足盤」
唐時代(7~8世紀)

■ 開催概要

展覧会名: 細川家と中国陶磁—名品でたどる中国のやきもの—

会 期: 2018年2月10日(土)~4月11日(水)

会 場: 永青文庫

開館時間: 10:00~16:30 (入館は16:00まで)

休 館 日: 月曜日(但し2/12は開館し、翌日休館)

入 館 料: 一般800円(700円)、シニア(70歳以上)600円(500円)、大学・高校生400円

※()内は10名以上の団体料金

※中学生以下、障害者手帳をご提示の方およびその介助者(1名)は無料。

□ 記念講演会

「中国陶磁の流れと永青文庫コレクション」

日時 2018年3月10日(土)13:30~15:00

講師 今井敦氏(東京国立博物館 学芸研究部調査研究課長)

会場 肥後細川庭園 松聲閣(東京都文京区目白台1-1-22)

定員 40人(先着順)

参加費 1000円(友の会会員800円)※税込

※当日、現金でお支払いください

申込方法 2/10(土)午前10:00より電話(03-3941-0850)にて
先着順に受付

五島美術館(東京・世田谷)でも中国陶磁の展覧会が開催されます。
永青文庫とあわせてぜひ!

「中国の陶芸展」2018年2月24日(土)~3月25日(日)

五島美術館

<http://www.gotoh-museum.or.jp/>

〒158-8510 世田谷区上野毛3-9-25



重要美術品「三彩獅子」
唐時代(8世紀)

●17年振り！永青文庫の中国陶磁が一堂に
—重要文化財2点を含む唐三彩コレクションを全点展示—

永青文庫で本格的な中国陶磁展を開催するのは、2001年以来17年振り。

この度、今井敦氏(東京国立博物館 学芸研究部 調査研究課長)のご協力を得て、100点を超える中国陶磁コレクションの調査を行いました。本展では、調査の成果をふまえながら、唐三彩の充実したコレクションなど、選りすぐりの作品約50点をご紹介します。



重要美術品「灰陶加彩馬」
北朝時代(6世紀)



重要美術品「琺瑯彩西洋人物図連瓶」
清時代 乾隆年間(1736~95)



重要美術品「五彩金襴手牡丹孔雀文仙蓋瓶」
明時代(16世紀)



重要美術品「三彩女子」
唐時代(8世紀)

●中国陶磁の入門にピッタリの展覧会
—細川コレクションでたどる中国のやきもの—

永青文庫は、古く漢時代から清時代までの中国陶磁を所蔵しています。そのコレクションは、大名細川家に伝来した品々と、当館の設立者である細川護立が蒐集したものと大きく分けられます。今回は、所蔵品の特質を活かし、中国陶磁史の流れをたどることができるように、時代順に作品を展示。中国陶磁の入門編としても楽しめる展覧会です。



重要文化財「白釉黒花牡丹文瓶」
北宋時代(11~12世紀)



重要美術品「澗青釉紫紅斑盤」
金時代(12~13世紀)



「金琺瑯蓋付馬上杯」
清時代(18~19世紀)



「油滴天目」
金時代(12~13世紀)



「唐物尻膠茶入 銘 浅野」
南宋~元時代(13~14世紀)

●大名細川家に代々伝わる茶道具も

日本には古くから中国の美術工芸品がもたらされ、とりわけ中国陶磁は茶道具として好まれました。千利休の高弟・細川三斎以来、茶の湯に親しんできた細川家は、唐物を含む茶道具の優品を伝えています。本展では、細川家伝来の茶碗や茶入など、茶道具として愛好された中国陶磁をあわせて展示します。

※すべて永青文庫蔵

貴社名:

媒体名:

ご担当者名:

ご所属:

TEL:

FAX:

ご住所:

E-mail:

掲載予定日: 年 月 日

掲載概要:(コーナー名、画像の掲載サイズ など)

◆ご希望の写真番号に○を付けてください。



1
重要文化財
「三彩宝相華文三足盤」
唐時代(7～8世紀)
永青文庫蔵



2
「灰陶加彩馬」
北朝時代(6世紀)
永青文庫蔵



3
重要文化財
「白釉黒花牡丹文瓶」
北宋時代(11～12世紀)
永青文庫蔵



4
「三彩獅子」
唐時代(8世紀)
永青文庫蔵



5
「五彩金欄手牡丹孔雀文仙蓋瓶」
明時代(16世紀)
永青文庫蔵



6
「金瑠璃蓋付馬上杯」
清時代(18～19世紀)
永青文庫蔵



7
「瑠璃彩西洋人物図連瓶」
清時代 乾隆年間(1736～95)
永青文庫蔵



8
「澱青釉紫紅斑盤」
金時代(12～13世紀)
永青文庫蔵



9
「油滴天目」
金時代(12～13世紀)
永青文庫蔵

【広報画像ご使用に際してのお願い】

※写真の使用は、本展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。

※展覧会名、会期、会場、作品名称、所蔵者を必ずご掲載ください。

※掲載誌は1部ご惠贈願います。

【個人情報の取扱いについて】

※ご記入いただきました個人情報は、当館からの展覧会情報のご案内にのみに使用いたします。

許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。